

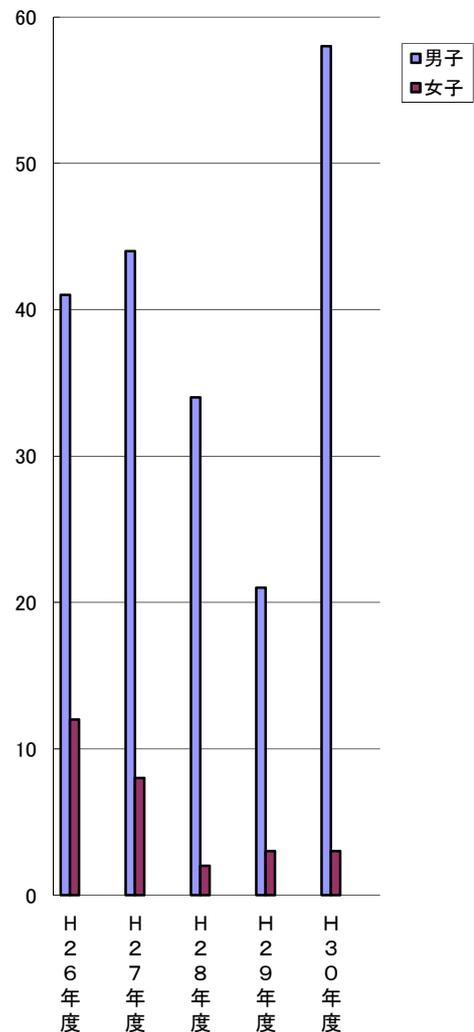
平成30年度 補導人数の明細

平成29年度との比較 ()内は女子内数

		平成29年度	平成30年度	比較
不良 ぐ 犯 行 為	喫煙	7 (2)	9 (1)	+2 (-1)
	飲酒			
	薬物乱用			
	粗暴行為	2	5	+3
	刃物等所持			
	金品不正要求			
	金品持ち出し	0	1	+1
	性的いたづら			
	暴走行為			
	家出			
	無断外泊			
	深夜はいかい			
	怠学	0 (0)	1 (1)	+1 (+1)
	不健全性的行為	2 (1)	0 (0)	-2 (-1)
	不良交友			
	不健全娯楽			
	その他	1 (0)	2 (0)	+1 (0)
	小計	12 (3)	18 (2)	+6 (-1)
	刑法犯	11 (0)	27 (0)	+16 (0)
	少年	1 (0)	5 (1)	+4 (+1)
特別法違反少年	0	11	+11	
小計	12 (0)	43 (1)	31 (+1)	
合計	24 (3)	61 (3)	+37 (0)	

過去5年間の推移 (単位:人)

	男子	女子	計
H 2 6 年 度	41	12	53
H 2 7 年 度	44	8	52
H 2 8 年 度	34	2	36
H 2 9 年 度	21	3	24
H 3 0 年 度	58	3	61



補導人数は平成17年度(326人)以降減少している。近年では、平成22年度に初めて100人を割り、平成29年度には24人まで減少した。しかし、平成30年度は増加に転じ61人となった。内、女子の補導人数は3人と特に変動はない。前年度比16人と大幅に増加した犯罪少年の行為を見ると、窃盗で検挙・補導された少年が最も多いが、集団での軽犯罪法違反(悪戯電話)で補導された少年がのべ9人いたことが特筆できる。